



SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー

RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY

こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳

副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1087回 例会
2012.4.20

司会:石井和郎君 指揮:山本 章君

ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F

TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 渡邊照芳君



東日本震災被災地訪問報告

本日は、先日訪問しました岩手県大槌町の報告をさせていただきます。

4月15日・16日に当クラブの会員14名で訪問いたしました。

16日に宿泊先の花巻温泉から約2時間半・途中釜石を通り震災の状況を見ましたが、一年以上経った今でも街の中には、建物はなく基礎だけの状態であったり、又1階部分が何もなくブルーシートでおおいかぶしてある建物、津波が川をさかのぼり駅前まで襲ってきた凄まじさがわかりました。そして両石町の漁村に入ると街がほぼ壊滅状態になっており建物の基礎部分だけと悲惨な状態のままです。国道45線を通り古廟トンネルをぬけ大槌町に入ると建物の基礎だけが残っている平地、そして海岸近くに立っているコンクリートの柱（おそらくJR山田線の陸橋の柱だと思う）そして街のなかを走ると1階2階部分が波にさらわれ廃墟となった「ふれあいセンター」そしてその周りには何もない、あるのは建物の基礎だけの街、地震で出た火事で焼けた大槌小学校の前を通り待ちあわせの中央公民館につきました。

大槌ロータリーの岩崎さんとパスト会長の佐々木さんと挨拶を交わし市職員の佐々木さんに、大槌町の状態を聞きました。1年たった今でも街の復興計画は決まらず16000人いた人口も13000人に減り、今一番困っているのは、住民が仕事をする場所もなく、このままでは人口は減る一方になるのではないかと、街はお盆に墓参りに来る人達の町だけになってしまうその事が一番心配であると言っていました。その中で佐々木さんの仕事で教育委員会の事務局又図書館長という立場で今、移動図書館を作り子供達に本を貸しだしている。全国から図書館を贈ってもらい子供達に色々な本を読んでもらい知識

と見識を拡げ、将来に希望を持ってもらいたいと言っていました。

我々ロータリーが何をお手伝い出来るか、この辺にヒントがあるのではないかと思います。そして今回色々々と段取りをさせていただきました大槌ロータリーの皆さんと一緒に出来る事を考えていきたいと思っています。

バスの中で震災前の大槌町のパンフレットを貰いました「おおつちの海と大地の物語」大変きれいな海そして街・おいしそうな海産物の写真が載っていました。いまの現状とのギャップに大変ショックを受けました。しかし佐々木課長さんと話している最中に12時をつけるチャイムがなりました、そのチャイムの中から大槌町の海に浮かぶ蓬莱島（NHKテレビで放送していたひよこりひょうたん島）のテーマソングが流れてきました

その歌の歌詞に「苦しい時もあるもんさ、悔しい時もあるもんさ、だけど僕らはくじけない泣くのはいやだ笑っちゃえ、進め進めひよこりひょうたん島」まさしく今の大槌町の人達の気持ではないかと思いました。このひょうたん島は中心に必ず以前より美しい街になる事を信じます。そして大槌町町民憲章に

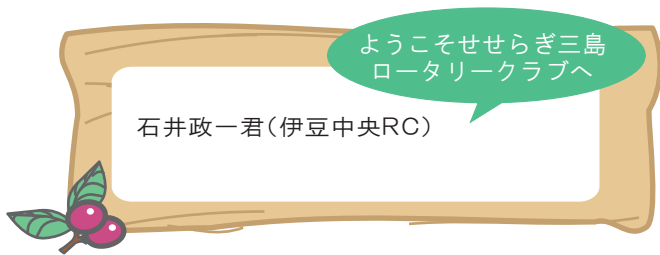
- 一・自然を愛し、自然を大切にしましょう
- 一・産業を興し、豊かな街を作りましょう
- 一・健康で、きまりある生活をしましょう
- 一・香り高い、郷土の文化を育てましょう
- 一・安全で、住みよいまちをつくりましょう

とあります。この復興に私たちロータリーも少しでも協力したいと思いました。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	32/34	94.12%	33/34	97.06%
今回	30/35	85.71%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

大房君、岡君、杉山(順)君、鈴木君、望月君



ようこそせらぎ三島
ロータリークラブへ

石井政一君(伊豆中央RC)



スマイルボックス

山口辰哉君:大槌町訪問、お疲れ様でした。皆様には大変お世話になりました。大槌町の生涯学習課長佐々木さんの話に、我々に何ができるのかを考えさせる言葉が多々ありました。

災害復興委員会:被災地の現状を把握するために大槌町へ訪問して参りました。14名の訪問団ひとりひとりが生の声で多くの人に伝播していく必要があります。共に頑張りましょう。訪問残金スマイルします。

兼子悦三君:先日、15、16日、東北の震災復興の現地に総勢14名で行って来ました。無事帰って来ましたのでスマイル致します。

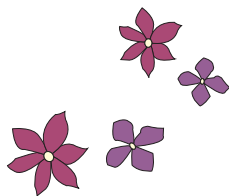
石井邦夫君:澤田さんが3月26日付日経ビジネスで一面に掲載されていました。又、4月17日テレビ東京WBSにて澤田さんが登場しておりました。当ロータリーの誇りです。

久保栄子君:本日、早退させていただきます。

幹事報告

幹事 山田定男君

1. 4月15~16日にかけて、東日本大震災復興委員会の呼びかけで、14名で大槌町へ行ってまいりました。
2. 本日、三島西RCの記念式典に参加された会員の皆様、ご苦労様でした。



卓話

東北震災復興委員会報告 委員長 兼子悦三君

去る4月15日、16日の両日、復興委員会のメンバー14名で岩手県大槌町を訪問して参りました。概略については、会長より話があたり通りですので、先方との会話についてご報告致します。

今後の支援について先方との話し合いは今後の問題として、まず先方に何か要請があるか聞いた処、各小学校、中学校に辞典類が不足しているとのことでした。中古でも新刊でも良いということでした。当方としても青少年育成に関する援助をしたいとの希望でしたので、この件については帰省後速やかに打ち合わせの上結論を出したいとの回答を致しました。又、当クラブが行っている“3年後の自分への手紙”事業について大変興味を示されていたので、この応援も希望があれば進めたいと申し出て来ました。

大槌ロータリーは現在10名のメンバーで運営していて、前会長の佐々木パスト会長と岩崎会員及び大槌町の教育委員会の佐々木健氏が出席致しました。現会長の道又氏は開業医の為、欠席致しました。

大槌町は町の90%以上が津波で破壊されていて、目を覆う惨状でした。

以上、簡単ですが報告致します。

ROTARY NEWS

元奨学生が物理学上の画期的な発見に貢献

TRIUMF研究所(素粒子・核物理研究を行うカナダの国立研究所)の研究員、藤原真琴さんは、元ロータリー国際親善奨学生です。藤原さんは、国際共同研究チームとともに、反物質の謎を解明へと導く画期的な発見をしました。

ビッグバン理論によると、宇宙の誕生時、物質と反物質は同等量生み出されましたが、反物質だけが、事実上すべて消滅しました。この不可解な現象の理由は、科学でも説明されていません。

2002年、藤原さんのチームは、研究所内で反物質の原子を人工的に生成することに成功。さらに2010年には、史上初めて、反物質を閉じ込めるという快挙を成し遂げました。物質と反物質は、衝突すると互いに消滅する(対消滅する)性質があるため、今回の成功には大きな意味があります。「なぜ反物質だけが消滅したのか」。その理由を探るために、反物質を閉じ込め、じっくりと時間をかけて物質と反物質の違いを観察することができます。

1992-93年度、藤原さんは、山梨県の甲府南ロータリークラブの推薦で、ロータリー奨学生としてバンクーバーに留学しました。「これからは、閉じ込めた反物質を使って、もっといろいろな実験ができる」と藤原さんは話します。